



2018年7月27日

各位

会社名：株式会社ダイナックホールディングス
 代表者名：代表取締役社長 若杉 和正
 (コード番号：2675 東証第二部)
 問合せ先：取締役常務執行役員 及川 直昭
 (電話：03-3341-4216)

2018年12月期第2四半期累計期間の個別業績予想の修正及び
 通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2018年5月2日に公表いたしました、2018年12月期(2018年1月1日～2018年12月31日)第2四半期累計期間の個別業績予想及び2018年2月2日に公表いたしました、通期の連結業績予想の見直しを行い、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2018年12月期第2四半期累計期間の個別業績予想の修正(2018年1月1日～2018年12月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	17,600	80	220	110	15円64銭
今回修正予想(B)	17,330	△136	48	△98	△14円00銭
増減額(B-A)	△270	△216	△172	△208	—
増減率(%)	△1.5	—	△77.9	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2017年12月期第2四半期)	17,383	147	143	126	17円99銭

2. 2018年12月期通期の連結業績予想の修正(2018年1月1日～2018年12月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	36,800	740	890	330	46円92銭
今回修正予想(B)	36,400	470	830	320	45円50銭
増減額(B-A)	△400	△270	△60	△10	—
増減率(%)	△1.1	△36.5	△6.7	△3.0	—

(注) 当社は、2018年12月期第3四半期より連結決算に移行いたします。

3. 修正の理由

第2四半期累計期間において、売上高は各種売上向上策や創業60周年記念キャンペーンなど様々な販売促進活動による増加を見込んだものの、天候不順の影響等により当初見込みに及ばない見通しです。営業利益及び経常利益は売上高の減少による影響に加えて、新規出店や業態変更などの先行投資を加速させた結果、当初見込みを下回る見通しです。また純利益に関しては、業態変更に伴う固定資産の除却損に加えて、一部店舗の減損損失を認識する見通しとなりました。

第2四半期までの業績を踏まえて通期業績予想に関しても見直すこととなりました。営業利益は店舗管理コストの一層の最適化を進めるものの、当初見込みを下回る見通しです。なお、経常利益及び純利益に関しては、当初予想に含めていない店舗に関わる営業補償金の受入を見込んでおりますが、当初予想に及ばない見通しです。

なお、2018年12月期の期末配当予想に変更はなく、現時点では2018年5月2日公表の配当予想を据え置くことといたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上